

シェールガス事業の資産効率向上を戦略的に実現

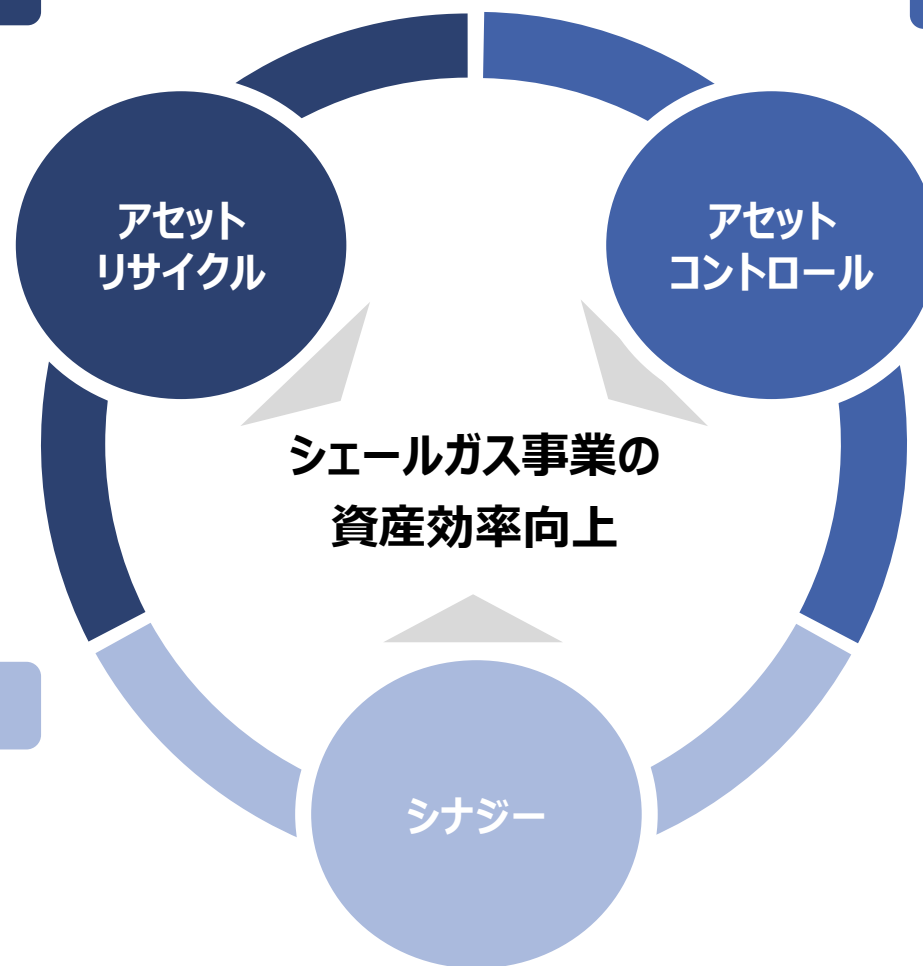
- ✓ シェールガス事業のアセットリサイクルを行い、オペレーターとして経験豊富な経営陣が在籍するTGNR社にリソースを集中し、資産効率の向上を目指す

選択と集中

- 東テキサスや北ルイジアナ地域におけるTGNR社の事業にリソースを集中し、事業効率を向上
- イーグルフォード層権益の譲渡による対価の一部を活用し、東テキサスにおけるCVX社との新たな共同開発による事業効率と成長を促進

隣接資産の一体開発

- 既存設備の共用によるコスト削減
- 規模の経済によるコスト削減
- 合理的開発*による採掘可能な埋蔵量の増加

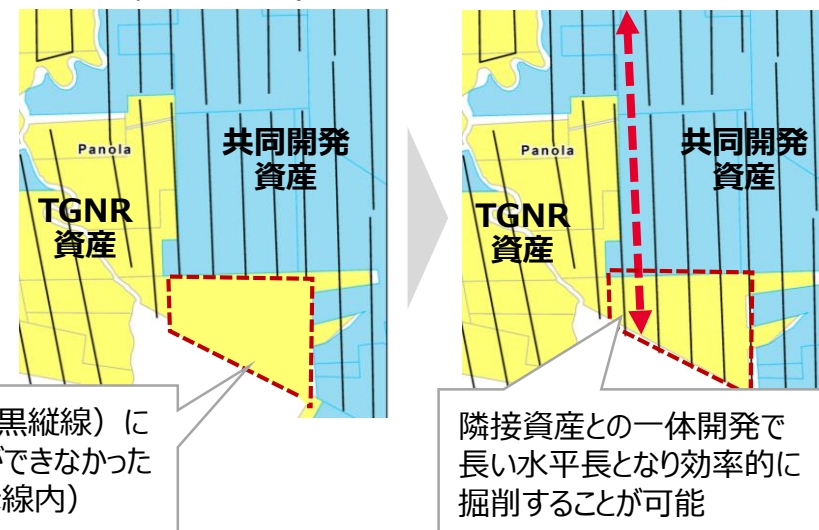


段階的な資産取得・開発余地の増加

- 先行支払い分以外の対価は、開発費として段階的に支払うことで、資産増加を抑制しつつ開発
- 開発余地の増加により、約20年以上にわたり生産が可能

*合理的開発の例

シェール層に対し、水平掘削を行うため、採掘距離（水平長）を長くすることで合理化を実現。



短い水平長（黒縦線）になるため掘削ができなかった既存資産（赤線内）

隣接資産との一体開発で長い水平長となり効率的に掘削することが可能

米国におけるエネルギーバリューチェーンの構築とLNGトレーディング事業との連携

- ✓ シェールガス事業を起点としたエネルギーバリューチェーンの構築により収益拡大を行う
- ✓ 米国における中下流事業への拡大・LNGトレーディング事業との連携を通して、資源価格のボラティリティの影響を緩和し、安定的な利益獲得を図る

アジア・日本のバリューチェーンとの連携

米国のバリューチェーンの拡大

欧州のバリューチェーンとの連携

